

J A R L

香川クラブ報

No. 313 平成12年12月15日



J A 5 Y D E

忘年会のご案内

今年も一年いろいろな事がありました、皆様方は如何でしたか。

まもなく、20世紀に幕を閉じようとしています。我々の生きてきた期間なんてたかが知れていますが歴史は着実に進んでいます。「2001年宇宙の旅」「2003年鉄腕アトム登場」「クローンや知能を持ったロボットの出現」「各種臓器の移植」なんて、かつては漫画の世界が現実になりつつあります。

私達の周りを見渡すと、高速道路がつき、瀬戸大橋がかけられ、ジェット機が離発着しています。個人がインターネットをし携帯電話を使っています。世は正にスピード時代。あらゆる分野でとどまる事が許されず、個人の意思に反してドンドンと進んで行っています。果たしてこんなことで良いのだろうかと思問自答をしていますが、明確な答えは見つかりません。

今年も相変わらずの不景気と雇用不安。日本のリーダーであるべき内閣は自らの保身のみを優先し、国民を無視した政治にはもう飽き飽きしています。

最近の犯罪をニュースで見るに付け、こんな世の中に苛立ちが抑えきれず「きれた」という状態が起こっているのではないかと考えてしまいます。

来る21世紀は一体どんな時代になるのでしょうか。20世紀が先送りした、ゴミ問題・環境問題・福祉問題。これらを解決しなければ私達の将来は見えないような気がします。我々の子孫が安心して暮らせる地球にしなければならないのでしょうか。

ところで、残すところ今年も後わずかとなりましたが、クラブの一年を振り返りますと、ソフトボール大会、ボーリング大会、高松市総合防災訓練へも参加し、各種コンテストやARDFにも積極的に参加し実りの多い年でした。

そこで表題のとおり、クラブ恒例の忘年会を下記のとおり開催いたします。年末のお忙しい時期ではありますが万障お繰り合わせの上、ご参加されますようご案内申し上げます。無線に関係有ること無いこと、人生の悲喜こもごも何でも結構です。大いに飲んで食べて喋って歌って、嫌なことは過去に楽しいことのみ来年に持っていけるよう楽しい一時を過ごしましょう。

記

日 時： 12月19日（火）
19：00から

場 所： 「いもたこなんきん本舗」
高松市古馬場 7-10
(TEL:0120-168203)

会 費： 男性 5,000円
女性 4,000円

申し込み： 締め切り

12月15日（金）厳守

連絡先： JH5EZB 三木博之
JE5PBO 岡田 光



クラブミーティングの報告

11月6日(月)東ハゼのグリーンハウスにおきまして、今年最後のクラブミーティングを開催しました。

天野会長のあいさつに続き、さっそく議題に入りました。

まず、来年迎える高松市政111周年を記念して特別局(例えば8J5III)について検討しましたが、QSLカード作成費用の問題やその他必要経費のこともあり結論は出ず、天野会長がもう少し関係機関と調整してみても結論を出すとのことで、「会長一任」との結論になりました。

忘年会は1ページに記載のとおりで決定しました。去年の人气が良かったので今年も同じ場所になりましたので、万障繰り合わせてご参加ください。

最後に、JARL香川県支部から「2002年に開催される支部大会を受け持ってくれないか」(来年は綾歌)との打診があったがどうするかについて検討しました。

支部制度が改悪され“JARL香川県支部”というのなくなるので、「最後は高松市で当クラブに」とのことらしいのですが、検討の結果「最後は県支部役員にお任せしては」との結論に達し、県支部にやってもらうか他クラブを当たってもらう事にしました。

今年のクラブ行事も「香川マラソンコンテスト」への参加と「忘年会」のみとなりましたが、1人でもたくさんの参加でクラブの活動を多いに盛り上げるようお願いします。

＜参加者＞ JA5AHM・JH5LYW・JH5WMN・JR5EBH・JE5PBO・JF5ICA・JG5OBX

香川マラソンコンテストに参加しましょう

この会報が皆さん方の手元に届く頃は、すでに「香川マラソンコンテスト」もすでに中盤に差し掛かっていることかと思います。

アクティビティーの低下が叫ばれ出して良い解決策も見当たらないまま今年も暮れようとしています。しかし、悔やんでばかりでは進展しません。ぜひ私達の手で少しでもアマチュア無線の活性化に力を注いでいきませんか。それによって心が豊かになり、心身のリフレッシュに役立つと思います。特にコンテストはアクティビティーを保持向上させるにはうってつけだと思います。ぜひ、こぞってご参加ください。

＜ コンテストの概要 ＞

期 間：12月1日(金)00:00から15日(金)23:59

参加資格：香川県在住の局で県内の移動のみ

参加区分：ワークバンドを除く、社団局=マルチバンドマルチモードの部

個人局=マルチバンドマルチモードの部

マルチバンド電信の部

マルチバンド各特殊モードの部

各シングルバンド電信電話の部

各シングルバンド電信の部

不明な点がありましたらお問い合わせ下さい。(JA5TOPまで)

20世紀最後の珍道中

d e J H 5 L Y W

去る、11月12日に福島県岩瀬郡岩瀬村において「全日本ARDF競技大会」が実施された。

5月に開催された「四国地方大会」の後、クラブからJF5MED・JF5EAP・JG5TJJ・JI5VWAと私、そしてJA5UAA岡田OMの合計6名で行くことになった。

福島県岩瀬郡なんて無線でも交信したことのない所で、まずは場所から探さなくては。最近は便利なもので、パソコンで検索すればすぐに場所はわかったのだが、それにしても遠いこと。

日が近づいてきて「現地までどうやって行くか」。いろいろ検討し、経費や時間配分を考え最終的にJA5UAA岡田OMの車で行こうということになった。

ドライバーは男性3人、走行距離は片道約1,000km「一人約330km、軽いもんだ」と決断した。しかしここで問題なのがJI5VWA大浦さんである。彼女は四国大会に所要で参加できずに全日本大会の参加資格がない。そこで、10月22日に開催される「中国地方大会」に参加して全日本の参加資格を取ろうと言う事になり、ローカル各局と参加した。何と参加資格を取ったどころか、見事第3位に入賞のおまけまでついてきた。

「ああでもないこうでもない。あそこは絶対に行って見たい」などと相談しながら、いよいよ出発の時が来た。

10日夜11時、JA5UAA宅にJF5MED夫妻と私が集合。4人でいよいよ高松を出発した。途中JI5VWAさんに乗せ、坂出ICから一路最初の宿泊先郡山に向けてスタートした。(JF5EAPさんは友人の結婚式出席のため郡山まで別行動)夜の出発のため皆眠いだろうと思っていたが、何と元気なこと。さすがに歌までは出ないがARDF談義と旅行先の話題で盛り上がる。車は順調に進み、夜のため交通量も少なく、またドライバーも適度に交代のため当初予定より速い行程である。途中雨が振りだし、またこの頃になるとさすがにうとうとする者もいたが、夜が明け日本海を見たときまた元気を取り戻し「ワイワイがやがや」である。幸い雨も上がった。

新潟中央JCT付近でJF5MEDさんが「時間があれば本場の喜多方ラーメンを食べに行きたい」と言い出した。「予定よりうんと速いし、それも良いだろう」と誰も異存はない。高速道路を降りて、一路喜多方に進路を向けた。のどかな田園地帯を過ぎ喜多方駅前に着くと駅前には馬車があった。「土蔵の町、喜多方の遊覧」だそうである。

取りあえず、初期の目的「喜多方ラーメンを食せねば」とたくさんあるラーメン店から古そうな店を選んで入った。意に違わず美味しかった。店を出ると馬車がまもなく出発するとの事。「せっかくここまで来ているのだから」と馬車観光と洒落こんだ。

喜多方を後にして、「それならもう少し」と会津白虎隊で有名な飯盛山まで足を伸ばした。階段ばかりで「明日にひびく」と文句を言う者もいた。頂上では白虎隊の舞踊がおこなわれ



ていたりした。白虎隊のお墓にお参りをして会津市内を眺めると、つい彼らはどのような思いで若き命を絶ったのか、つい往時を思いせつなくなった。



「ついでだから」と会津若松城にも足を伸ばした。城門をくぐると鮮やかな紅葉にしばし目を奪われた。

「あまり遅くなつては」と出発。「現地を少しでも見ておきたい」とのこと、岩瀬村に向かった。途中山の中でガス欠が心配されたが事無きを得、何とか現地に着いたときはさすが東北である。日が暮れるのが早く周辺をうかがうことは出来なかった。

郡山のホテルには18時ごろ着き食事をして就寝した。

12日いいよいよ大会当日である。ホテルを出発したが、前日下見の効果があつて全く迷わず会場に着いた。温度はかなり下がっており、寒い一日になりそうである。

受付を済ませ、開会式も順調に進みスタート地点へ移動、いいよいよ大会開始である。寒いせいか、適当に運動する者、建物の中に身を隠す者、それぞれである。

09:45 いいよいよ第1組(JA5UAA 該当)の呼び出し開始。のはずがいつまでたっても呼ばれない。時間が過ぎていたので聞きに行くと「10:00 になった」とのこと。「??? 何かのトラブルで15分遅れたのだろうか」と言い合っているといよいよ第1組の呼び出しが開始された。第2組、第3組と受信機を持って順調にスタート地点へ向かう。

10:15 「いいよいよ第1組がスタート」と思いきや「第4TXの信号が出ていないので、そのまま地図を伏せて待機してください」との放送。スタートラインにいた局はもちろん待機の各局も一同「ガクッ」「まあ仕方ないわな、でもお粗末な」と一同が見守る中、スタッフは大慌て。「後5分あと5分」必死で担当TXと連絡。しかし全く復帰の可能性がない。「送信機を取り換えれば」というと「TXの場所は担当者しか知らない」と審判長が言った。

「嘘っそう、そんな、審判長が知らないなんて」1時間も経ってやっと送信機を取り替えられたが今度は第5TXの電波が30秒ずれている。またもや審判団はパニックである。リセットを試みるが担当者のやりかたがまずいのか送信機のタイマーに欠陥があるのか、一向になおらない。これも送信機を取り替えやっと全ての送信機が作動し出した。実に当初予定から遅れること1時間45分。寒さ厳しい中で長時間またせて「こんなの有りい?」何とか第1組がスタートし次々と選手が出て行く。

待機中の人で「帰りの航空便を予約しているので、スタートしても途中で引き返し空港に行かなければ」なんて投げやりに言っていた人もいた。気の毒で思わず「JARLに大会費用と交通代を請求すれば」なんて言おうとしたが…。昼食が当初の閉会式の時間までずれ込み、いつまでたっても閉会式もおこなわれない。時間のない人は次々と会場を後にして帰路に着いている。

やっと、閉会式を迎えることが出来たが、ここでも「TXの位置がわからないのでOMの方で全部回った方で誰か地図上に書きこんでください」なんて無責任なことを言い、正式発表ですと配られた成績表は、時間超過失格者が上位に入っていたり、タイムの間



違いが指摘され「もうわかりました。後で直しておきます」なんて收拾がつかない有様。皆疲れてるし、これ以上スタッフを責めても何の解決にもならないとあきらめ顔。表彰式で JF5MED さんが誇らしげにメダルを掛けてもらったのがせめてもの救いである。

今回のことはもしかしたら JARL がこれからの ARDF をやって行く中で「何でもありますよ。今回のこと以内であれば全て OK ですよ」と言わんがための布石だったような気がしてならない。



疲れた一日に一同ぐったり。それでも次の宿泊地、那須塩原へ向けて移動しなければならぬが JA5UAA さんは「1 時間 45 分も寒空で…」となかなか機嫌が直らなかった。温泉につかり、食事をしてやっと機嫌を取りなおした。

時間がないからと 7 時過ぎに旅館を出発。本来なら昨日夕方に観光するはずであった塩原温泉郷境界をパスして一路日光に向かった。途中日塩もみじライン・霧降高原道路を経て大笹牧場・太閤下ろしの滝・霧

降の滝など見学しながら日光に入った。渋滞を何とか潜り抜け、いろは坂を登り明智平に着いた。見下ろせば中禅寺湖と華嚴の滝の雄大さには目を奪われた。華嚴の滝で昼食を取り移動していると何と昨日大会で一緒した山口の各局とあった。すごい人の中、偶然とはいえあまりにも奇遇であった。エレベーターで観望台まで下り素晴らしい景色を堪能した。その後一路日光東照宮を目指したが渋滞でなかなか進まず、思わず自分のことはさておいて「平日なのに何でこんなに人が多いの」とぼやく事しきり。それでもやっとたどり着くと「今日はもう拝観は終わりですよ」の声に一同「ガクッ」。仕方ないので、今夜の宿泊先である鬼怒川温泉へ移動して猿劇場か何かを見学しようとしたが、全て冬時間のため「もう終わりですよ」とのこと。あきらめて「少し速いが旅館でゆっくりしよう」となった。

「どうしても日光見学をしたい」という声に押し切れ「帰りが少し遅くなるが明日の午前中見学して帰ろう」と決定し、温泉に浸かり宴会をして就寝した。

朝、早々に旅館を後にし一路日光へ。時間が早いせいもありそれほどの人でもない。ゆっくりと世界遺産にも登録されている輪王寺・東照宮・二荒山神社・大猷院廟の各所を見学した。圧巻は 350 年目にして初公開された大猷院廟の中にある徳川家光のお墓と各種展示物の数々であった。後ろ髪を引かれる思いで日光を後にし、帰路に着いた。

15 日午前 1 時、無事帰りつくことができ、大会を除けば非常に素晴らしい旅であった。

来年からは全日本 ARDF も地方予選がなくなり、各種大会規定も緩和すると言う。今回の大会のような無様な大会であっても構わないということになるのであろうか？果たしてそれが、JARL の言う ARDF の普及発展につながるものであろうかはなはだ疑問である。



ARDF大会に参加しました

＜ARDF中国地方大会＞ 平成 12 年 10 月 22 日 広島県河内町白竜湖周辺

クラス	大会順位	コールサイン	所要時間	探索個数	備 考
Y L	2 位	J F 5 E A P	1 時間 41 分 47 秒	3 個	白竜湖を一周するかどうかで相当タイム差があったようです。
	3 位	J I 5 V W A	1 時間 06 分 42 秒	2 個	
	失格	J G 5 T J J	2 時間 00 分 47 秒	3 個	
O M	1 位	J F 5 M E D	1 時間 17 分 37 秒	5 個	J I 5 V W A さんは全国大会の出場権がかかっていて、良く頑張りました。
	2 位	J F 5 I C A	1 時間 25 分 16 秒	5 個	
	4 位	J I 5 S A O	1 時間 32 分 44 秒	1 個	
O T	1 位	J H 5 L Y W	1 時間 24 分 18 秒	4 (5) 個	
	4 位	J A 5 T O P	1 時間 42 分 08 秒	4 個	
	8 位	J G 5 O B X	1 時間 59 分 16 秒	4 個	

＜全日本ARDF大会＞ 平成 12 年 11 月 12 日 福島県岩瀬郡岩瀬村

クラス	大会順位	コールサイン	所要時間	探索個数	備 考
Y L	4 位	J F 5 E A P	1 時間 55 分 55 秒	3 個	JF5MED さんがOMクラス第1位に輝き、ARDFの日本チャンピオンになりました。
	6 位	J I 5 V W A	1 時間 38 分 29 秒	2 個	
	10 位	J G 5 T J J	1 時間 43 分 28 秒	2 個	
O M	1 位	J F 5 M E D	1 時間 20 分 18 秒	5 個	
O T	19 位	J H 5 L Y W	1 時間 24 分 18 秒	4 個	

＜ARDF高知大会＞ 平成 12 年 11 月 26 日 高岡郡越知町宮ノ前公園周辺

クラス	大会順位	コールサイン	所要時間	探索個数	備 考
Y L	1 位	J F 5 E A P	1 時間 45 分 22 秒	4 個	今年最後の大会でしたが、この時期には珍しく大変暖かい一日でした。
	2 位	J F 5 I C B	1 時間 42 分 10 秒	2 個	
	4 位	J G 5 T J J	1 時間 39 分 07 秒	1 個	
O M	1 位	J F 5 M E D	1 時間 05 分 50 秒	5 個	JF5EAP さんが始めてTX4個をゲットしました
	失格	J I 5 S A O	2 時間 01 分 04 秒	2 個	
O T	2 位	J H 5 L Y W	1 時間 43 分 07 秒	4 (5) 個	
	4 位	J A 5 T O P	1 時間 44 分 15 秒	4 個	
	11 位	J G 5 O B X	1 時間 39 分 12 秒	1 個	

全日本ARDF大会において、見事日本一になられた J F 5 M E D 山田OMの感想記は今回号の締切りに間に合いませんでしたので次回号で記載することになりました。

また、J R 5 E H B 吉田OMからも原稿を頂いておりますが、随時記載予定をしておりますのでご容赦下さい。

ARDF 関連の記事が多くなっています。他にも記事がありましたら編集部としては大歓迎ですのでぜひどしお寄せ下さい。

よろしくお願いします。



★★★ 新入会員募集中 ★★★

JARL 香川クラブでは、新入会員を募集しています。
クラブ結成50周年行事も終了し、更なる飛躍と新たな歴史を築いてい
かなければなりません。
クラブに新風を吹き込むためにも、新入会員の募集にご協力ください。

JARL 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知
らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得し
た方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。
特に、家族会員の方が十分に把握できていません。
せっかく取得したコールサインを流し、また再開局するのは不経済です。

*** 連絡先 JH5WMN 山口博司 方

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得してい
る方は、差し支えなければ連絡下さい。

Eメール：JH5WMN
JH5LYW

**前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成12年度会費につきましても早急に納入をお願いします。**

会報等印刷発送だけで会費の半分以上を使っています。会費が未納の方は納入して
くれている会員の方に負担をかけています。ぜひよろしくをお願いします。

*** 会費納入口座

JARL 香川クラブ ***

JARL 香川クラブ報

発行責任者	JA5AHM	天野 英 弘
編 集 者	JA5TFJ	横 田 壽 夫
	JH5LYW	三 好 伸 幸
	JH5WMN	山 口 博 司
	JE5PBO	岡 田 光

事 務 所 〒

天 野 英 弘 方

TEL :

郵便振替口座

JARL香川クラブ